

第2回 議会運営委員会記録

1 日 時 平成30年2月2日(金) 午後3時42分 開会

2 場 所 議会委員会室

3 出席委員 8名

委員 長	高田保則	委員	宮澤一照
副委員 長	佐藤栄一	〃	阿部幸夫
委員	渡辺幹衛	〃	小嶋正彰
〃	岩崎芳昭	〃	堀川義徳

4 欠席委員 0名

5 欠 員 0名

6 職務出席者 2名

議 長	植木茂	副 議 長	横尾祐子
-----	-----	-------	------

7 説明員 0名

8 事務局員 3名

事務局 長	岩澤正明	主 査	道下啓子
庶務係 長	池田清人		

9 件 名

1) 議会改革項目の会派への調整依頼について

○委員長（高田保則） ただいまから議会運営委員会を開会いたします。

議長。

○議長（植木茂） 先般行われました会派代表者の懇談会におきましてですね、議会改革のあり方についての意見交換を行いました。その中におきます議会改革の項目についてですね、議運の皆様からお諮りをいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

1) 議会改革項目の会派への調整依頼について

○委員長（高田保則） ありがとうございます。今、議長からお話ありましたけども、1月30日に開催されました会派代表者懇談会、会議じゃなくて懇談会において、議会改革の進め方について、いろいろご意見をお聞きしましたので、本日協議をお願いしたいと思います。

懇談会での議会改革の進め方の大方の意見は、大きく4つの意見にありました。一つは、議会改革項目の提案は30項目もあり、議運だけでは、協議の負担が重いのではないか、という意見。それから項目の中には、過去に出ているもの、「こうしなければいけない」というような行動指針、心構えに関するものもあり、具体的な取り組み項目としては、精査する必要があるんじゃないかと。三つ目はですね、議員としての任期もあり、継続して検討するものとして引き継ぐものもあるだろうが、優先順位を決め取り組む必要がある。四つ目ですが、個人の提案を募集したが、会派での調整により項目を絞り、優先順位を決め、会派として再度提出してもらったかどうか。

大まかには、この4つのような意見がこの間の代表者懇談会では出ました。議運としては、会派に対して個人から提案のあった議会改革項目について、会派として取り組むべき項目を絞り、優先順位を付けて議運に提出すること、ということで、皆さんに会派に要請をしたいと思います。ですから、今30項目皆さんから、おそらく個人的だと思うんですが、改革案出ておりますが、それを所属する会派でもう一度精査、練り直しをして、再度、議運の方に提出をしていただきたいというふうに思うわけですが、そういうことで考えておるんですが、その辺はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

〔「ちょっと」という者あり〕

○委員長（高田保則） はい。小嶋委員。

○小嶋委員（小嶋正彰） 基本的にそれでいいと思うんです。で、30も出てきた、「も」というと失礼ですね。本当にありがたい話だろうと思うんですけども。ただ、その出てきたやつをとりまとめして、どういうふうにするかという部分で、検討するときにはですね、例えば優先順位をつけるとしても、例えば優先順位を付けるのは、A、B、C三段階とかね。それから、これは継続、これは審議しないでもいいとか、これは別のところでやるとか、何かその規則的な、調整するルールみたいなものが必要でないかな。それぞれ会派で独自に調整しても取りまとめも大変かなと思うんですけど、どんなもんですかね。

○委員長（高田保則） それについてはですね、だから今言ったように、今30項目ありますけども、それぞれ所属会派で再度精査、練り直しをしていただくと。行動指針だとかいろんな改革には必要なんですけど、具体的にどうだっというような項目も中には見受けられますので、その辺を会派の中で、きちっとした議会改革はということで出していただくと。

〔「委員長違う、聞いていること」という者あり〕

○委員長（高田保則） 渡辺委員。

○渡辺委員（渡辺幹衛） 小嶋さん、30項目、全てランク付けろということじゃないんだよ。今までは個人で30項目でてるわけ。それを会派の人でまとめて出してもらいたい。

〔「引っ込めるものもあるという意味ですか。振るいにかけるということか」という者あり〕

○渡辺委員（渡辺幹衛） 会派で検討してもらいたい。会派の個人個人が2つも、3人も出しているわけだ。ほんだけど、会派で決めてもらって、優先順位を付けてもらいたい。それを見ると個人個人だから、個人の思いだけで出しているから、前に審議しても、説明もこの間あったけど、それについてはこうです、という結論でたのまで出している場合もあるから、それでも重要だと思えば出したってもかまわないんだけど。そうふうに振るいにかけて、会派でもしてもらいたい。一挙に全協にかけて、皆であーでもない、こーでもないと言ったって、まとまらないだろう、そういう意味だ。

○委員長（高田保則） 岩崎委員。

○岩崎委員（岩崎芳明） 話はだいぶ分かったんですが、ただ、30項目あるという中で、例えば会派で協議して持ち寄るというのは、例えば、その最優先課題ということで、ABCみたいな中で、会派としてAになったやつを、例えば3つとか、5つとか持ち寄るといことなんですか、それでなくて、全部にランク付けるんですか。優先順位。

○委員長（高田保則） 要するに、提案の仕方としては、会派で提案してもらいたい。原則的にはそういうことなんです。会派でも、いろいろ意見の違う人がいますけど、それを全部やると、今の30項目、40項目になっちゃうんで、それはとても、なかなか審議できないんで、それは中身をもうちょっと煮詰めてもらっていただいて、もう一度議運のほうへ提出していただくと。そういうことです。提出するときに、会派として優先順位をつけていただきたいとそういうことです。

〔「それなら、ABCくらいつけるという案もそれでいい」という者あり〕

○委員長（高田保則） それでいいと思います。

〔「一番から十番まで付けろと言われても」という者あり〕

○委員長（高田保則） 小嶋委員。

○小嶋委員（小嶋正彰） 私心配なのは、審議ばかりしていて、やっぱりやれることは早くやったほうがいいんじゃないかと。前にどなたかも言ってましたけども、それをしたいということ。

○委員長（高田保則） 議会改革は議運ということですので、皆さんから出てきた意見をまたこの場で揉むわけです。そこで、何をどういうふうに審議していくかというのは皆さんでまた決めるわけですから。そういうことです。

また、場合によっては会派に投げかける場合もあります。同じ問題をね。それは今度議運の中で選択、精査していくことですので、早くやる、やらないというのは、議運のやり方だというふうに思います。

副委員長。

○副委員長（佐藤栄一） 小嶋さんが非常に心配されていると思うんですが、多分、会派で一旦揉んでもらうと中味の濃いものができてくると思うんですよ。一人の意見より、二人、三人の意見が。そうすると、いいものができてくれば、「これ、やっぱりオラんとこ、これ一ついらんな」とかいうのも出るかもしれない。そういったものをしながら、出てくれば、議運のところに出たときの議論が早いと思うんですよ。そういった、逆に言えば、私はこのほうがスピードアップするんじゃないかなと思いを持っているんで、できればそういった形で進めていただければと思うんですが。

○委員長（高田保則） 小嶋委員。

○小嶋委員（小嶋正彰） なにせ私、一年前に提案したやつがやっとうこういう委員会での意見交換と、そういう形で検討していただいて、ありがたく思っているんですけども。そういうようなことで、やることはやるという方向で進めていただきたい。そういう意味で言ったつもりです。

○委員長（高田保則） これからの議会改革については、皆さんから意見出たものをスピード感を持って改革に向かうということが前提ですので、その辺は皆さんとのこれからの進め方だというふうに思います。そういうことで、今皆さんから出していただいた項目については、再度、自分の会派に持ち帰っていただいて、その中で精査、選別をしていただいて、もう一度議運のほうに提出していただくということで、まあ、スピード感ということではないのですが、9日の午前中までに、ひとつ、提出をしていただきたいと。それを、提出していただいたものをとりまとめして、できれば、次の14日に議会運営委員会を開催したいと思うんですが。いかがでしょう。

〔「異議なし」という者あり〕

○委員長（高田保則） 14日は臨時会、全協あって最後に議運を開催したいと、その中で皆さんから各会派から出てきた改革案について審議をしていただくということでお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

〔「異議なし」という者あり〕

○委員長（高田保則） よろしいでしょうか。じゃあ日程はそういうことで14日ということでお願いしたいと思います。

○委員長（高田保則） 以上で議会運営委員会を閉会したいと思います。ご苦労様でございました。

閉会 午後3時52分